

教 育 研 究 業 績 書

令和 5年 4月 1日

氏 名 中 西 淳 平

研 究 分 野	研 究 内 容 の キー ワード	
科学教育・教育工学、電気電子工学	高等教育(数学、物理)、通信方式、変復調、ネットワーク・LAN、マルチメディア	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		
① 数学(I、II、III、A、B、C)の教材制作	平成19年4月～ 平成28年3月	授業及び家庭学習において、理解が深められるよう、生徒の習熟度に合わせてプリントを作成し、添削指導を行った。
② 物理(I、II、物理基礎)の演示実験、視聴覚教材の活用	平成21年4月～ 平成28年3月	目で見てわかるように、生徒の目の前で演示実験を実施した。演示実験の難しいものは、視聴覚教材を活用した。
③ 物理(I、II、物理基礎)の教材制作	平成26年4月～ 平成28年3月	授業及び家庭学習において、理解が深められるよう、生徒の習熟度に合わせてプリントを作成し、添削指導を行った。
④ 授業形式として、グループ学習の採用	平成26年4月～ 平成27年3月	教師の説明を最小限にして、生徒同士で教え合って理解を深めていく授業形式を採用した。
⑤ 情報処理演習の教材制作、 演示、学生による実践演習	平成28年4月～ 令和3年3月	3つの科・専攻(生活文化専攻、食物栄養専攻、保育科)にわたって開講している。コンピュータの基本操作習得をできる限り平易にできるよう、プリント教材を作成し、どのようにコンピュータを操作するか、演示した。さらに理解を深めるために、実践課題を準備し、学生に実践演習をしてもらった。
⑥ コンピュータ科学演習の教材制作、 演示、学生による実践演習	平成28年4月～ 現在に至る	表計算ソフトウェアを用いた数値データの処理を精度高く実行できるよう、プリント教材を作成し、表計算ソフトウェアの操作を演示した。さらに理解を深めるために、実践課題を準備し、学生に実践演習をしてもらった。
⑦ 情報科学の教材制作	平成28年4月～ 現在に至る	計算機科学、情報科学、コンピュータシステムに関する基礎的概念、基本的な知識習得をできる限り平易にできるよう、プリント教材を作成した。学習の手助けとなる補助教材を作成し、小テストを実施した。
⑧ コンピュータネットワーク論の教材制作	平成28年4月～ 現在に至る	インターネットに代表される情報通信システム、コンピュータネットワークシステムに関する基礎的概念、基本的な知識習得をできる限り平易にできるよう、プリント教材を作成した。学習の手助けとなる補助教材を作成し、小テストを実施した。

⑨ 生活文化ゼミの実施、進行、ワークシートの作成、学生論集執筆の指導	平成 28 年 4 月～ 現在に至る	物事の魅力を効果的に伝える手段としての映像を、コンピュータを用いて制作していく過程を通して、映像の特徴および動画編集ソフトの操作を学習させた。これらを効果的に進められるように、ワークシートを作成した。魅力的な映像制作が実現できるよう、適宜進行を確認し、制作の手助けをした。学生論集を執筆させ、添削指導を行った。
⑩ 卒業研究の実施、進行、アンケートの作成、学生論集執筆の指導	平成 28 年 4 月～ 平成 29 年 3 月	野菜嫌いの傾向のある幼児が野菜嫌いを克服できるような料理を提案し、調査検討した。アンケートを 2 回実施し、1 回目の結果から嫌いな野菜を抽出した。これらの野菜嫌いを克服する料理を提案し、2 回目のアンケートを取ったところ、彩り盛り付け、幼児が好きなキャラクターを取り入れるといった小さな工夫を根気よく繰り返すことによって野菜嫌いを克服することができたことがわかった。学生論集を執筆させ、添削指導を行った。
⑪ 基礎演習の教材制作	平成 28 年 4 月～ 平成 30 年 3 月	栄養士養成課程の専門教育科目群の学修に必要な基礎学力、基礎知識を効率的に復習できるよう、プリント教材を作成した。学習の手助けとなる補助教材を作成し、小テストを実施した。
⑫ 生活文化論の教材制作	平成 30 年 4 月～ 現在に至る	電子計算機の発明から現在までの発展および古代の情報通信技術から現代までの情報通信技術までの歴史を開説する視覚的資料を作成し、映像資料も加えて解説した。現在研究開発途上の技術や今後の展望を解説した。
⑬ 情報処理論の教材制作	平成 31 年 4 月～ 現在に至る	コンピュータの動作原理、ソフトウェアの種類と役割などに関する基礎的概念、基本的な知識習得をできる限り平易にできるよう、プリント教材を作成した。学習の手助けとなる補助教材を作成し、小テストを実施した。
⑭ プログラミングの教材制作、演示、学生による実践演習	平成 31 年 4 月～ 現在に至る	プログラミングに必要な用語や文法、手順、アルゴリズムについて理解するために、プリント教材を作成し、プログラムの作成過程や動作状況を演示した。さらに理解を深めるために、実践課題を準備し、学生に実践演習をしてもらった。
⑮ Web プログラミングの教材制作、演示、学生による実践演習	令和 2 年 4 月～ 現在に至る	Web プログラミングに必要な用語や文法、作成手順と使用ソフトについて理解するために、プリント教材を作成し、Web プログラミングの過程や動作状況を演示した。さらに理解を深めるために、実践課題を準備し、学生に実践演習をしてもらった。
⑯ マルチメディア演習の教材制作、演示、学生による実践演習	令和 3 年 4 月～ 現在に至る	Adobe Photoshop Elements の基本的な操作の修得を手助けする教材を作成し、画像作成の過程や動作状況を演示した。さらに理解を深めるために、実践課題を準備し、学生に実践演習をしてもらった。
⑰ 基礎演習の教材制作、演示、学生による実践演習	令和 5 年 4 月～ 現在に至る	学生ポータル、Google Classroom、Gmail 等、学生生活に必須のソフト等の基本的な操作の修得を手助けする教材を作成し、操作の過程や動作状況を演示した。さらに理解を深めるために、実践課題を準備し、学生に実践演習をもらった。

<p>2 作成した教科書、教材</p> <p>① 数学（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B、C）の教材制作</p> <p>② 物理（Ⅰ、Ⅱ、物理基礎）の教材制作</p> <p>③ 情報処理演習（生活文化専攻）の教材制作</p> <p>④ 情報処理演習（食物栄養専攻）の教材制作</p> <p>⑤ 情報処理演習（保育科）の教材制作</p> <p>⑥ コンピュータ科学演習の教材制作</p> <p>⑦ 情報科学の教材制作</p> <p>⑧ コンピュータネットワーク論の教材制作</p> <p>⑨ 生活文化ゼミのワークシートの作成</p>	<p>平成 19 年 4 月～平成 28 年 3 月</p> <p>平成 26 年 4 月～平成 28 年 3 月</p> <p>平成 28 年 4 月～令和 3 年 3 月</p> <p>平成 28 年 4 月～令和 3 年 3 月</p> <p>平成 28 年 4 月～令和 3 年 3 月</p> <p>平成 28 年 4 月～現在に至る</p> <p>平成 28 年 4 月～現在に至る</p> <p>平成 28 年 4 月～現在に至る</p> <p>平成 28 年 4 月～現在に至る</p>	<p>授業及び家庭学習において、理解が深められるよう、生徒の習熟度に合わせてプリントを作成し、添削指導を行った。</p> <p>授業及び家庭学習において、理解が深められるよう、生徒の習熟度に合わせてプリントを作成し、添削指導を行った。</p> <p>生活文化専攻で開講している情報処理演習では、コンピュータの基本操作およびワープロ、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの基本操作習得をできる限り平易にできるよう、プリント教材を作成し、実際の操作を演示した。さらに理解を深めるために、実践課題を準備し、学生に実践演習をしてもらった。</p> <p>食物栄養専攻で開講している情報処理演習では、コンピュータの基本操作および統計計算や栄養計算に必要な表計算ソフトの基本操作習得をできる限り平易にできるよう、プリント教材を作成し、実際の操作を演示した。さらに理解を深めるために、実践課題を準備し、学生に実践演習をしてもらった。</p> <p>保育科で開講している情報処理演習では、コンピュータの基本操作およびワープロ、表計算ソフトの基本操作習得をできる限り平易にできるよう、プリント教材を作成し、実際の操作を演示した。さらに理解を深めるために、実践課題を準備し、学生に実践演習をしてもらった。</p> <p>表計算ソフトウェアを用いた数値データの処理を精度高く実行できるよう、プリント教材を作成し、表計算ソフトウェアの操作を演示した。さらに理解を深めるために、実践課題を準備し、学生に実践演習をしてもらった。</p> <p>計算機科学、情報科学、コンピュータシステムに関する基礎的概念、基本的な知識習得をできる限り平易にできるよう、プリント教材を作成した。学習の手助けとなる補助教材を作成し、小テストを実施した。</p> <p>インターネットに代表される情報通信システム、コンピュータネットワークシステムに関する基礎的概念、基本的な知識習得をできる限り平易にできるよう、プリント教材を作成した。学習の手助けとなる補助教材を作成し、小テストを実施した。</p> <p>物事の魅力を効果的に伝える手段としての映像を、コンピュータを用いて制作していく過程を通して、映像の特徴および動画編集ソフトの操作を学習させた。これらを効果的に進められるように、ワークシートを作成した。</p>
--	---	--

⑩ 卒業研究のアンケートの作成	平成 28 年 4 月～ 平成 29 年 3 月	野菜嫌いの傾向のある幼児が野菜嫌いを克服できるような料理を提案し、調査検討した。アンケートを 2 回実施し、1 回目の結果から嫌いな野菜を抽出した。これらの野菜嫌いを克服する料理を提案し、2 回目のアンケートを取ったところ、彩り盛り付け、幼児が好きなキャラクターを取り入れるといった小さな工夫を根気よく繰り返すことによって野菜嫌いを克服することができたことがわかった。
⑪ 基礎演習の教材制作	平成 28 年 4 月～ 平成 30 年 3 月	栄養士養成課程の専門教育科目群の学修に必要な基礎学力、基礎知識を効率的に復習できるよう、プリント教材を作成した。学習の手助けとなる補助教材を作成し、小テストを実施した。
⑫ 生活文化論の教材制作	平成 30 年 4 月～ 現在に至る	電子計算機の発明から現在までの発展および古代の情報通信技術から現代までの情報通信技術までの歴史を開説する視覚的資料を作成し、映像資料も加えて解説した。現在研究開発途上の技術や今後の展望を解説した。
⑬ 情報処理論の教材制作	平成 31 年 4 月～ 現在に至る	コンピュータの動作原理、ソフトウェアの種類と役割などに関する基礎的概念、基本的な知識習得をできる限り平易にできるよう、プリント教材を作成した。学習の手助けとなる補助教材を作成し、小テストを実施した。
⑭ プログラミングの教材制作	平成 31 年 4 月～ 現在に至る	プログラミングに必要な用語や文法、手順、アルゴリズムについて理解するために、プリント教材を作成し、プログラムの作成過程や動作状況を演示した。さらに理解を深めるために、実践課題を準備し、学生に実践演習をしてもらった。
⑮ Web プログラミングの教材制作	令和 2 年 4 月～ 現在に至る	Web プログラミングに必要な用語や文法、作成手順と使用ソフトについて理解するために、プリント教材を作成し、Web プログラミングの過程や動作状況を演示した。さらに理解を深めるために、実践課題を準備し、学生に実践演習をしてもらった。
⑯ マルチメディア演習の教材制作	令和 3 年 4 月～ 現在に至る	Adobe Photoshop Elements の基本的な操作の修得を手助けする教材を作成し、画像作成の過程や動作状況を演示した。さらに理解を深めるために、実践課題を準備し、学生に実践演習をしてもらった。
⑰ 基礎演習の教材制作	令和 5 年 4 月～ 現在に至る	学生ポータル、Google Classroom、Gmail 等、学生生活に必須のソフト等の基本的な操作の修得を手助けする教材を作成し、操作の過程や動作状況を演示した。さらに理解を深めるために、実践課題を準備し、学生に実践演習をしてもらった。
3 教育上の能力に関する大学等の評価		

① 和歌山信愛女子短期大学学生による授業評価アンケートにおける評価	平成 28 年 9 月	和歌山信愛女子短期大学において期末に実施させている授業評価アンケートによると、本人が担当した「情報処理演習」(生活文化専攻)は、教員の教え方：4.56 点(全体平均：4.28 点)、授業の内容について：4.29 点(全体平均：4.15 点)であり、いずれも全体平均より高い評価を得ている。
② 和歌山信愛女子短期大学学生による授業評価アンケートにおける評価	平成 30 年 2 月	和歌山信愛女子短期大学において期末に実施させている授業評価アンケートによると、本人が担当した「情報処理演習」(食物栄養専攻)は、教員の教え方：4.67 点(全体平均：4.22 点)、授業の内容について：4.52 点(全体平均：4.11 点)であり、いずれも全体平均より高い評価を得ている。
③ 和歌山信愛女子短期大学学生による授業評価アンケートにおける評価	平成 30 年 9 月	和歌山信愛女子短期大学において期末に実施させている授業評価アンケートによると、本人が担当した「コンピュータ科学演習」は、授業の内容について：4.51 点(全体平均：4.18 点)、教員の教え方について：4.45 点(全体平均：4.22 点)であり、いずれも全体平均より高い評価を得ている。
④ 和歌山信愛女子短期大学学生による授業評価アンケートにおける評価	令和元年 9 月	和歌山信愛女子短期大学において期末に実施させている授業評価アンケートによると、本人が担当した「情報処理演習」(生活文化専攻)は、授業の内容について：4.51 点(全体平均：4.21 点)、教員の教え方について：4.53 点(全体平均：4.25 点)であり、いずれも全体平均より高い評価を得ている。
⑤ 和歌山信愛女子短期大学学生による授業評価アンケートにおける評価	令和 3 年 2 月	和歌山信愛女子短期大学において期末に実施させている授業評価アンケートによると、本人が担当した「Web プログラミング」は、授業の内容について：4.49 点(全体平均：4.23 点)、教員の教え方について：4.68 点(全体平均：4.25 点)であり、いずれも全体平均より高い評価を得ている。
⑥ 和歌山信愛女子短期大学学生による授業評価アンケートにおける評価	令和 3 年 9 月	和歌山信愛女子短期大学において期末に実施させている授業評価アンケートによると、本人が担当した「コンピュータ科学演習」の評価は概ね全体平均と同じかやや高い点を得ている。例えば、「教員の言葉は、聞き取りやすかった」は 4.2 点(全体平均：4.1 点)、「授業に集中できる環境、雰囲気が整っていた」は 4.3 点(全体平均：4.2 点)といった具合である。
⑦ 一般財団全国大学実務教育協会による評価	令和 4 年 3 月	和歌山信愛上士短期大学における実務教育の充実向上に寄与した業績が著しいものであると評価され、実務教育優秀教員として表彰された。
⑧ 和歌山信愛女子短期大学学生による授業評価アンケートにおける評価	令和 5 年 3 月	和歌山信愛女子短期大学において期末に実施させている授業評価アンケートによると、本人が担当した「Web プログラミング」の評価はすべての項目で 4.3 以上の評価を得た。例えば、「授業の開始時間や終了時間は守られていた」は 4.6 点(全体平均：4.5 点)、「この授業はシラバスに示された授業内容に基づいて進められていた」は 4.6 点(全体平均：4.4 点)といった具合である。

<p>4 実務の経験を有する者についての特記事項</p> <p>① 教育実習生の指導</p>	<p>平成 21 年 6 月 平成 24 年 6 月</p>	<p>高校（理科）の教育実習生の指導 高校（数学）の教育実習生の指導</p>
<p>5 その他</p> <p>① 和歌山信愛中学校・高等学校における教育経験</p> <p>② 中学入試、高校入試の作成</p> <p>③ 和歌山信愛女子短期大学における教育経験</p>	<p>平成 19 年 4 月～平成 28 年 3 月 平成 19 年 4 月～平成 28 年 3 月</p> <p>平成 28 年 4 月～現在に至る 平成 28 年 4 月～令和 3 年 3 月 平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月 平成 28 年 4 月～平成 30 年 3 月 平成 29 年 4 月～令和 2 年 3 月 平成 30 年 4 月～現在に至る 平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月 平成 31 年 4 月～現在に至る 令和 2 年 4 月～現在に至る 令和 3 年 4 月～現在に至る 令和 5 年 4 月～現在に至る</p>	<p>数学科教諭、理科教諭として勤務し、高校数学と高校理科（物理）を担当 和歌山信愛中学校・高等学校の入試問題を毎年作成した。特に主担当として作成したのは 平成 20 年 中学入試・前期／中期（理科（物理分野）） 平成 21 年 中学入試・中期（算数） 平成 23 年 中学入試・プレテスト（算数） 平成 25 年 中学入試・中期（算数） 平成 27 年 中学入試・後期（算数）</p> <p>「コンピュータ科学演習」「情報科学」「コンピュータネットワーク論」「生活文化ゼミ」を担当 「情報処理演習」を担当</p> <p>「卒業研究」を担当</p> <p>「基礎演習」を担当</p> <p>「医療秘書実務実習」を担当</p> <p>「生活文化論」を担当</p> <p>「医療事務演習」を担当</p> <p>「情報処理論」「プログラミング」を担当</p> <p>「Web プログラミング」を担当</p> <p>「マルチメディア演習」を担当</p> <p>「基礎演習」を担当</p>
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
<p>1 資格、免許</p> <p>① 第一種情報処理技術者試験</p> <p>② 修士（工学）</p> <p>③ 高等学校教諭一種免許状（理科）</p> <p>④ 高等学校教諭一種免許状（数学）</p>	<p>平成 10 年 7 月 平成 11 年 9 月 平成 19 年 3 月 平成 19 年 3 月</p>	<p>合格</p> <p>大阪大学大学院 論文題目「電波エージェントを用いたマルチメディア無線通信に関する研究」 け平十八高一種第弐九号（和歌山県教育委員会）</p> <p>け平十八高一種第参〇号（和歌山県教育委員会）</p>

⑤ 高等学校教諭一種免許状 (工業)	平成 19 年 3 月	め平十八高一種第式九式号 (和歌山県教育委員会)
2 特許等 なし		
3 実務の経験を有する者についての特記事項 ① 新製品の開発 ② 校務分掌 (コンピュータ係) ③ 校務分掌 (時間割係)	平成 16 年 1 月～ 平成 17 年 10 月 平成 19 年 4 月～ 平成 28 年 3 月 平成 19 年 4 月～ 平成 28 年 3 月	株式会社パトライトにおいて、新製品の企画、設計、開発、試験に従事 和歌山信愛中学校・高等学校において、中学入試、高校入試の Web による合格発表を担当 和歌山信愛中学校・高等学校において、通年の時間割作成、出張・欠勤等による時間割の変更、調整
4 その他 なし		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) なし				
(学術論文) 1 電波エージェントを用いたマルチメディア無線通信に関する研究 (修士論文)	単著	平成11年9月	大阪大学大学院	有線通信に比べ、利用可能な周多数帯域が制限されている無線通信において、効率的に画像情報を伝送する方式が必要とされている。本論文では、画像情報を画像品質を大きく左右する重要情報とそうではない付加的な情報に分離し、分離した情報の重要度に応じて情報を伝送する方式を切り替えることによって、効率的に画像情報を伝送できることを示した。また、画像によって伝送する方式を切り替える電波エージェントを用いることで、いろんな画像に対しても効率的に画像伝送できることを示した。
(その他) 「学会発表」 1 Modulation Level Controlled Mobile Image Transmission System	—	平成10年3月	電子情報通信学会総合大会 Vol. 1, No. B-5- 233, p. 597	有線通信に比べ、利用可能な周多数帯域が制限されている無線通信において、効率的に画像情報を伝送する方式が必要とされている。本発表では、画像情報を画像品質を大きく左右する重要情報とそうではない付加的な情報に分離し、分離した情報の重要度に応じて情報を伝送する方式を切り替えることによって、効率的に画像情報を伝送できる階層多値変調画像伝送を用いることによって、効率的に画像情報を伝送できることを示した。 共同発表者：中西淳平、森本雅和、岡田実、小牧省三 本人担当部分：研究の計画と実践、発表を行った。
2 A Study on a Wireless Image Transmission Scheme based on Hierarchical Multilevel QAM	—	平成10年3月	電子情報通信学会 The Proceedings of the Mobile Multimedia Communication Workshop Japan, Vol. 1, No. 1,	有線通信に比べ、利用可能な周多数帯域が制限されている無線通信において、効率的に画像情報を伝送する方式が必要とされている。本発表では、画像情報を画像品質を大きく左右する重要情報とそうではない付加的な情報に分離し、分離した情報の重要度に応じて情報を伝送する方式を切り替えることによって、効率的に画像情報を伝送できる階層多値変調画像伝送を用いることによって、効率的に画像情報を伝送できることを示した。 共同著者名：中西淳平、森本雅和、岡田実、小牧省三

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
3 Wireless Agent on mobile multimedia communication environment	—	平成11年5月	pp. 7-12 5th Wireless Advanced Telecommunications System	本人担当部分：研究の計画と実践、発表を行った。 有線通信に比べ、利用可能な周多数帯域が制限されている無線通信において、効率的に画像情報を伝送する方式が必要とされている。本発表では、画像情報を画像品質を大きく左右する重要情報とそうではない付加的な情報に分離し、分離した情報の重要度に応じて情報を伝送する方式を切り替えることによって、効率的に画像情報を伝送できることを示した。また、画像によって伝送する方式を切り替える電波エージェントを用いることで、いろんな画像に対しても効率的に画像伝送できることを示した。
4 Study of Wireless Agent on mobile multimedia communication environment	—	平成11年6月	YRP 産官学 세미나	有線通信に比べ、利用可能な周多数帯域が制限されている無線通信において、効率的に画像情報を伝送する方式が必要とされている。本発表では、画像情報を画像品質を大きく左右する重要情報とそうではない付加的な情報に分離し、分離した情報の重要度に応じて情報を伝送する方式を切り替えることによって、効率的に画像情報を伝送できることを示した。また、画像によって伝送する方式を切り替える電波エージェントを用いることで、いろんな画像に対しても効率的に画像伝送できることを示した。
5 A wireless image transmission system using hierarchical multilevel QAM	—	平成11年9月	国際会議 The 10th International Symposium on Personal, Indoor, and Mobile Radio Communications (PIMRC '99), B5-5	有線通信に比べ、利用可能な周多数帯域が制限されている無線通信において、効率的に画像情報を伝送する方式が必要とされている。本発表では、画像情報を画像品質を大きく左右する重要情報とそうではない付加的な情報に分離し、分離した情報の重要度に応じて情報を伝送する方式を切り替えることによって、効率的に画像情報を伝送できる階層多値変調画像伝送を用いることによって、効率的に画像情報を伝送できることを示した。 共同著者名：中西淳平、森本雅和、岡田実、小牧省三 本人担当部分：研究の計画と実践、発表を行った。
「報告書」 1 コンピュータの基本操作習得を目的とした授業について	—	平成30年3月	和歌山信愛女子短期大学 FD 実践報告書	生活文化専攻で開講している情報処理演習では、コンピュータの基本操作およびワープロ、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの基本操作習得を実践的に学習した。学生の中にはコンピュータ操

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
2 コンピュータの基本操作習得を目的とした授業について	—	平成31年3月	和歌山信愛女子短期大学 FD 実践報告書	<p>作の初心者がいるため、ゆっくり一つずつ確実に作業を進めてもらう一方、コンピュータの活用に関して習熟度の高い学生に対するフォローが難しい。対策として、初心者向けの課題と応用的な内容を含んだ課題の両方を用意する、というのが考えられる。授業評価アンケートの結果より、「良く理解できた」77.8%、「全体としてこの授業に満足している」77.8%であったことから、この授業は総じて学生から高い評価を得られていることがわかった。</p> <p>保育科で開講している情報処理演習では、コンピュータの基本操作およびワープロ、表計算ソフトの基本操作習得を実践的に学習した。学生の中にはコンピュータ操作の初心者がいるため、ゆっくり一つずつ確実に作業を進めてもらう一方、コンピュータの活用に関して習熟度の高い学生に対するフォローが難しい。需要評価アンケートの結果より、「授業に集中できる環境、雰囲気を整っていた」の項目が低かった。これは学生の作業時間にはお互いに協力し合いながら作業を進めることを奨励するスタイルの悪い面が現れたものと思われる。対策として、初心者向けの課題と応用的な内容を含んだ課題の両方を用意することにより、習熟度の低い学生も高い学生もお互いうまく協力させるように促す、ということが考えられる。</p>
3 コンピュータを用いた基本的な統計処理の操作習得を目的とした授業について	—	令和2年3月	和歌山信愛女子短期大学 FD 実践報告書	<p>食物栄養専攻で開講している情報処理演習では、コンピュータの基本操作および表計算ソフトの基本なデータ処理を実践的に学習した。データ処理の題材として、栄養指導で扱う情報やデータ、記述統計学で用いられる基本統計量とその算出方法を採用した。学生の中にはコンピュータ操作の初心者が少なからず存在するため、ゆっくり一つずつ確実に作業を進めてもらった。授業評価アンケートの結果によると、学生の評価が一番高い設問項目は、「急な休講や補講、教員の遅刻や早退などはなかった」と「授業の開始時間や終了時間は守られていた」がともに科目平均 4.63 であった。食物栄養専攻の学生の志向として、時間が守られているかどうか、習熟度の低い学生のフォローが手厚いかどうか、に評価を高くつける傾向があるようだが、習熟度の高い学生に対する対応に不十分なところが</p>

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
4 情報処理論の授業における遠隔授業の取り組みについて	—	令和3年3月	和歌山信愛女子短期大学 FD 実践報告書	ある点は今後の課題である。生活文化専攻で開講している情報処理論について、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、対面授業ではなく遠隔授業で授業を進めることとなった。授業をサポートするツールとして Google Classroom を使い、これによってプリント配付、閲覧、重要ポイントの説明および詳細解説を実施した。重要ポイントの説明および詳細解説においては、Google Classroom に備わっている授業参加者全員に全体コメントをリアルタイムに送付する機能を利用することによって、対面授業と同様のライブ感を学生に感じられるよう配慮した。また、授業のところどころで学生が自身の知識獲得を確認できる確認テストを実施し、これの実施には Google Forms を活用した。確認テストの正答率に応じて、必要があれば授業内容を再度解説したり、確認テストを複数回実施したりした。授業評価アンケートの結果より、知識獲得を主たる目的とする暗記科目であるため、もともと高い評価を得にくい授業ではあるが、対面授業ではなく遠隔授業として実施したことによって、例年以上に低い評価となった。
5 FD 実践報告書	—	令和4年3月	和歌山信愛女子短期大学 FD 実践報告書	生活文化専攻で開講しているコンピュータ科学演習について、令和3年度は次のように授業を展開した。Excel 操作の習熟度が低い学生には、気を配って丁寧に説明をした一方、Excel 操作の習熟度が高い学生には追加課題を与えることによって、学生の習熟度に合わせて授業を行った。授業評価アンケートでは、すべての項目で 4.1 以上の評価を得た。特に「授業の計画について」の項目が比較的高い評価を得た。また、「授業の内容について」においても「この授業は自分のためになる」の項目は比較的高い評価を得た。その理由として、授業内容が学生の興味と一致しているため、が考えられる。次年度も学生の興味を引く課題を用意して授業を進めたい。
6 FD 実践報告書	—	令和5年3月	和歌山信愛女子短期大学 FD 実践報告書	生活文化専攻で開講している Web プログラミングについて、令和4年度は次のように授業を展開した。Web ページの完成例を提示し、HTML を入力、完成させてから、HTML の各要素についての説明を行った。その際、一部を変更することによってどう変化するか、について実演・

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
				提示した。授業評価アンケートでは、すべての項目で4.3以上の評価を得た。特に「授業の開始時間や終了時間は守られていた」の項目が比較的高い評価を得た一方、「教科書、板書、配布資料、視聴覚教材、実演などは、授業内容の理解に役だった」の項目は比較的低い評価であった。「授業の内容について」の項目の評価は低くないので、次年度は学生配付資料を見直し、充実させたい。